

才商魂士



北海道根室高等学校
商業科・事務情報科通信
令和7年10月14日
第 5 号
文責：大川智史

『出張先で思ったんだけど…ハンバーガーとかラーメン高くない？』

先週、札幌に出張だったんだけど、昼と夜にハンバーガーとラーメン食べたんだけどめっちゃくちゃ高くなってるやないかいっ！！普段、外食しないから気づかなかったぞ。(噂には聞いていたが…)みんな、最近スーパーやコンビニで「あれ？また値上げしてる…？」って思わない？前はもっと安かった気が…！！

これって、今の日本経済の「インフレ(物価高)」と「円安」が原因です…。



1. 「円安」のせいで、私たちの100円の価値が下がってる！

知っておきたいのが「円安」ってやつ。簡単に言うと、「日本の『円』の力が弱くなっている」ってことなんだ。

例えば、前は1ドルを100円で交換できたとするよね。これが今、もし1ドル=150円になってたらどうなる？アメリカ産の牛肉(ハンバーガーのパティ！)が、前は100円で買えたのに、今は150円出さないと買えなくなっちゃう。ジュースの材料の砂糖とか、工場で使う石油とかも、海外から買うときにお金(円)をいっぱい払わないといけない。

つまり、海外から輸入しているもの(食料、エネルギー、スマホの部品など)の値段が、円が弱いせいで自動的に高くなっちゃうんだ。この影響が、私たちが買うハンバーガーやエナジードリンクの値段にモロに反映されてる！

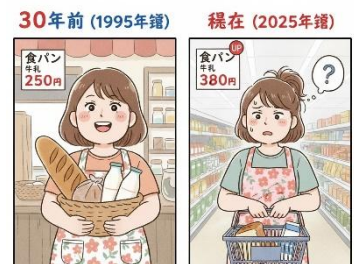
2. 「コストプッシュ型インフレ」って何？

「景気が良くなって、みんながお金をたくさん使うから値上げする」っていうのは、経済の授業で習う良いインフレ。でも、今の日本はちょっと違うぞ…。これは「コストプッシュ型インフレ」って呼ばれてる。

「コスト」(材料費や人件費)が「プッシュ」(押し上げ)されているってイメージ。

さっきの円安で輸入コストは上がるし、さらに日本は人手不足だから、アルバイトの人とか社員の人の給料(人件費)も上げないといけない。企業は、コストが上がりすぎると赤字になっちゃうから、「ごめん！この分、値段に上乗せさせて！」ってことで、モノの値段を上げざるを得ないんだ。

景気がめっちゃくちゃ良いから値上げしてる、って感じじゃないのがヤバイよね。



3. 結局、私たち高校生はどうなるの？

この「物価高」と「円安」は、私たちのバイト代や将来に直結するんだ。バイト代(給料)が今のままだと、買えるものが減っちゃう。これがニュースでよく聞く「実質賃金(じっしつちんぎん)がマイナス」って状況なんだ。給料がちょっと上がっても、物価の上昇スピードに追いついてないってこと。逆に、日本の製品は海外の人から見たら「安い！」ってなるから、トヨタの車とかゲーム機とか、日本の輸出企業はたくさん儲かるチャンス！私たちのお財布がピンチなのは事実だけど、その分、企業も頑張って給料を上げよう(賃上げ)としてるニュースも増えてる。この値上げラッシュが落ち着いて、本当に給料が上がって「景気の良いインフレ」になるかどうか、今の日本の大きなカギなんだ！

一生懸命働いても、私たちのお財布がピンチになっちゃう国ってどうなんだろうね…。一度で良いので好景気を経験してみたいものです。

根室市のお財布診断！～厳しい財政と、君たちにかかる未来の期待～

1. 根室市のお財布は今、超ピンチに立たされています

現在、根室市のお財布、つまり財政は、「不安定な収入源」と「避けられない支出増」という二重のプレッシャーにさらされています。

私たちの家庭の家計簿に例えると、まず収入面では自力で稼ぐ力(市税)が少なく、収入の大半を国からの「仕送り(地方交付税)」に頼っている状態です。国のお財布が苦しくなったり、制度が変わったりすると、すぐに根室市の財政もグラグラしてしまう、不安定な構造なんです。

一方、支出は増える一方です。根室市は高齢化が進むため、お年寄りの医療や介護にかかるお金(支出)が自動的に増え続けています。これは「絶対に削れないお金(支出)」です。さらに、道路や学校(小・中)などの古い公共施設を直したり、災害に強くしたりする「大きな修理代」も、これから大量にかかることが確定しています。

結論として、収入は不安定なのに、絶対に必要な支出は増える一方。だから市役所は今、お金の使い方を今まで以上に超シビアに「選択」しなければならない状況です。

2. 財政の苦しさは「未来への投資」に影響する

このお財布の苦しさは、皆さんが受ける「教育」にも影響します。お金がカツカツだと、学校(小・中)の設備を最新のものにしたり、新しい教材を導入したりといった「未来への大きな投資」が、どうしても後回しになりやすいのが現実です。皆さんがより快適で安全に学べる環境を整えることが難しくなったり、教育への投資が「今はガマン！」となりかねません。

しかし、市は教育への投資こそ、未来の根室を担う君たちへの「最高の財源」だと考えています。皆さんが「このまちで学んでよかった」と感じ、将来、根室で活躍してくれることが、未来の税収や労働力を確保する最も確実な財政対策になるからです。だからこそ、市は「子育て・教育環境の充実」を重要な政策課題に掲げています。

3. 君たち「商業科の力」こそが、根室の未来！

根室市がこの厳しい状況を乗り越え、未来を切り開くために賭けている戦略は、「地域自身の稼ぐ力」をアップさせることです。

一つは、全国からの応援金である「ふるさと納税」をさらに活用し、そのお金を地域の産業や雇用創出に直結する分野に集中投資することで、根室自身の経済を強くすることです。また、予算を「少子化対策」「防災対策」「教育」など、本当に大切なところにだけ、優先的に、効果が最大になるように振り分ける「選択と集中」を徹底します。

そして、最も期待されているのが、君たち商業科の力です。市役所も地元の企業も、人手不足の中で「少ない人数で大きな成果を出す力」、つまり「生産性」を求めています。

皆さんが学ぶ簿記や IT、ビジネスの知識は、ムダのない「経営の効率化」や、デジタルツールを活用した「生産性向上」のために最も必要とされているスキルです。皆さんが将来、根室で働く、あるいは市外で活躍して故郷を応援してくれることが、財政を「稼ぐ側」から支える力になります。

根室市の財政の未来は、決して暗いニュースだけで終わりません。この厳しい状況を理解し、「自分たちの知識とスキルで、この街の未来を支えるんだ！」という意識を持つことが、何よりも強力な展望になります。皆さんの学びこそが、根室の未来への一番確実な投資なのです。